

筑西広域市町村圏事務組合分賦金について

が、増加傾向になるものと認識している。

結城市、桜川市、筑西市で分賦金を負担しているが、ごみ処理センター更新時に数百億円かかる見込み。また、消防署の新設工事也开始するようだが、財政に占める負担について。

筑西市と同様、施設更新時の負担軽減のため、基金を設立してはどうか。

企画財務部長 各施設の

将来的な改修や建替えを見据えた中で、分賦金の急増が予想されることから、基金設置を検討していく。

いく。

企画財務部長 分賦金の実績額が14億円台、一般会計の歳出に占める割合も7%台が継続している



成年後見制度について

長期受任の対応や、不正防止、切れ目のない対応のため、社会福祉協議会などの法人委託をしてはどうか。

保健福祉部長 成年後見

制度利用促進協議会においても、市民後見や法人後見についての促進が提案されているので、外部委託について、社会福祉協議会等と連携しながら検討していく。

結城南中学校区新設校について

文科省では新設校に1/2の国庫補助金を交付するとあるが、新設校の概算では約1/3となっているのはなぜ。

教育部長 この乖離は、

負担金の算出方法が実際の工事費ではなく、国が規定する国庫補助面積と建築単価から算出されることに起因している。

体育館を設計から外すということは非常に大きな問題で、他の部分をもっとコンパクトにすることで可能だったのでは。開校期限にこだわらず、必要な施設は残して欲しい。

教育部長 10年4月の開校とコンセプトを堅持した中で設計変更を行うには、体育館を削除する案が最適であるとの結論に至ったところである。

## なぜ新設校の体育館を削除する設計変更をしたのか

ごみ処理センターの寿命はあと15年



永塚 英恵  
(ながつか はなえ)

録画映像  
はこちら

